

学校図書館支援センター通信

NO 1

10月号

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

学校図書館支援センター推進事業始まる！



『学校図書館支援センター推進事業』が、文部科学省指定の委託事業として10月より再スタートしました。

本事業の目的は、公共図書館・学校図書館相互の図書及び教育情報の共同利用をさらに拡充し、学校図書館の機能を充実させ、豊富で多様な図書などを利用した読書活動・学習活動を推進しながら、子どもの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育てていくことにあります。

これまでの指定事業同様、協力校を中心に、市全体で研究を推進したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【研究協力校・協力員紹介】（敬称略）

学校名	司書教諭	学校図書館員 （協力員）
国府台小学校	三浦せい子	岩田 恭子
中国分小学校	松戸 隆子	原田 とみ
大洲小学校	細谷由美子	平湯 仁美
大野小学校	松本 陽子	加藤久美子
南行徳中学校	庄司 洋介	島津 直美
第七中学校	大石有規子	出澤 佳子
東国分中学校	（楠 義成）	北井 恵子



【学校図書館支援スタッフ紹介】

小林路子先生（慶應義塾大学非常勤講師）

市川市を退職して半年。改めて市川市の学校図書館に対する高い評価を身にしみ感じております。市川市では当たり前であるさまざまな学校図書館施策は、全国の殆どの自治体でまだまだ実現していません。第一に、学校図書館に学校司書・学校図書館員という専任の「人」がいること。二つめに他校や公共図書館から簡単に無制限に図書を貸し借りできるシステムがあること。だからこそ、学校図書館が読書センター、学習・情報センターとして機能しており、日常的に利用されていること。

その市川の学校図書館で、子どもたちの心も学びもより豊かにできるよう、私もともに学ばせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



小林先生は、原則木曜日に支援センターで勤務します。相談や巡回・講師のご依頼などございましたら支援センターまでご連絡ください。（研究協力校以外の学校へも可能なかぎりご訪問いたします。）

第61回読書週間

10月27日～11月9日

戦後まもない昭和22年、「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう。」という趣旨のもと、出版組織を中核に公共図書館・マスコミ機関なども加わり、11月17日から第1回読書週間が開催されました。

翌年、第2回目からは、期間も10月27日～11月9日（文化の日の前後1週間）と定められ、現在では国民的行事として定着しています。

学校でも、さまざまな趣向を凝らした図書館行事や読書活動が予定されていることでしょう。子どもたちとともに、読書の楽しさをたっぷり味わいたいですね。

2007 第61回読書週間標語 『君と読みたい本がある』



作家講演会の予定

今年度の「作家講演会実施予定」です。今後、実施を検討している学校がありましたら、参考にしてください。公開を予定している学校では、参観できますので、各校へお問い合わせください。（アンケートへのご協力、ありがとうございました。）

学校名	作家名	期日	時間	対象	公開
菅野小学校	宮川 ひろ	10月23日	11:00～	児・保	有
富貴島小学校	小林 豊	10月23日	10:30～	児・保	有
大和田小学校	薫 くみ子	10月24日	10:40～	児・保	有
鬼高小学校	いとうひろし	10月31日	10:40～ 13:30～	児童 保護者	有
塩焼小学校	長谷川義史	11月19日	11:30～ 13:45～	児・保	無
国府台小学校	いとうひろし	11月29日	13:45～	児・保	無
八幡小学校	丘 修三	6月17日			実施済

『新美南吉パンフレット』をお送りします

新美南吉記念館が発行していますパンフレット（2部）を、全小学校に配付いたします。学習活動にご活用ください。

【新美南吉記念館】愛知県半田市岩滑西町1-10-1 TEL 0569-26-4888

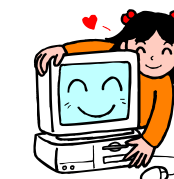


データベース化完了！

～ 特別支援学校 学校図書館 ～

この夏、司書連絡会・学校図書館員の皆様のご協力により、特別支援学校の図書、約1000冊のデータベース化が完了しました。

ただ今、メール通信も設定中です。通信が可能となりましたら、アドレスを全校にご連絡します。



市川市学校図書館支援センター（教育センター） TEL 320-3335 FAX 320-3352